

質問8 「会員 10 万人時代」の到来について

(該当箇所: p.16、2019 年度事業報告、協会組織体制等に関する報告)

『会員 10 万人時代』は何年後に到来すると見据えたのでしょうか？

回答

まずこの「会員 10 万人時代」という表現は一種の修辞であることをご理解ください。9 万人では足りず 10 万人でなければ意味がないような「10 万人」という正確な数値がここで問題となっているわけではありません。協会の 50 年以上に及ぶ歴史の中で、最初は 18 人の会員で始まった協会が、長い時間をかけて徐々に会員数を増やしていき、今や 6 万人の会員を擁する大きな団体に成長し、今後も会員数は増えていくことが見込まれています。このような発展に伴い、団体としての発言力も強まってまいります。果たすべき役割や社会的な責任もそれだけ増し、質・量・速度が求められることにもなります。「会員 10 万人時代」とは、まさにそういう会員数の増加に伴って協会が内外から求められることもますます大きくなる傾向性の行き着く先を示唆しています。

協会の組織は、当初は手作りの最小限の体制から出発し、その都度の必要性に迫られて継ぎ接ぎのように組み立てられてきて、法人化、公益法人制度改革を経て、現在の組織体制に至っています。現状の組織でも一定の体裁は整えられていますが、これまで慣れ親しんできた旧態依然とした考え方に囚われていると、この時代の要請に的確に答えていくことが難しくなってまいります。そういう問題意識から、今般、協会組織の抜本的な見直しに着手したとご理解いただければ幸いです。

なお、会員数のことをお伝えしますと、現状では、入会者と退会者の足し引きにより毎年約 2,000 人ずつ会員が増加している傾向にあります。これを目安に試算をしますと、現在の会員数が約 6 万人ですから、これが 10 万人になるには約 20 年かかることとなります。もちろん協会は、組織率の向上を目指して、入会者を増やし、退会者を減らす努力を今後も続けてまいりますし、3 万人以上いると考えられる非会員作業療法士に入会を促すことも大きな課題と認識しています。この取り組みの成否によっては 20 年が 10 年になることもあり得ましょう。しかし問題はそれが 10 年後か 20 年後かではなく、今からそれに向けて準備を進め、この規模の団体に相応しい組織体制を整えることにあります。